

[PR] 60代の注文殺到！ブルジョアミンの26倍

島根原発

関連ニュースはこちら

3号機、手続き開始 「周辺自治体に配慮を」 知事、中国電に「急ぎ過ぎ」批判で / 島根

毎日新聞 2018年5月23日 地方版

社会一般 行政 島根県

[PR] 広告

拡大

アイスライン フラベリッチ キャラメルマキアート 100g×15個

¥1,795 7/5(金)からは、味が付いた氷塊を細かく砕いたアイスサンドレンジング毎の家が新登場。

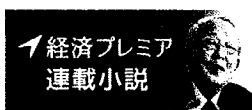
島根原発（松江市）3号機の新規稼働に向け、中国電力が22日、立地自治体の県と松江市に提出した事前了解願。原子力規制委への安全審査申請を前にした最初の手続きとなる。同市の松浦正敬市長は「早急に審査をしてもらって安全性の確認を」としたが、30キロ圏内の周辺自治体からは手続きを急ぎ過ぎているとの批判があり、溝口善兵衛知事は慎重な姿勢を見せている。【根岸愛実、前田葵】

中国電の清水希茂社長に应对した溝口知事は「（規制委への）申請内容について丁寧に説明を」と念を押した。周辺自治体の鳥取県側から「手続き先行ではないか」との批判が出ている点を報道陣に問われると「火力発電が多いとCO2の排出が多くなる問題も念頭においた上で、周辺自治体にも一定の配慮をすべき」と語った。松江市役所では、清水社長は「3号機は（電力の）安定供給のために必要。安全対策には徹底して臨む」と話し、松浦市長は「議会などで意見を聞き、対応したい」と述べた。

中国電は22日、出雲市▽安来市▽雲南市▽鳥取県▽同県米子市▽同県境港市の周辺6自治体にも幹部が出向き、報告した。

反対派の動きは活発だ。18日には島根原発・エネルギー問題県民連絡会（松江市）など、76団体が「事前了解手続きに強く抗議し、直ちに中止することを要請する」とした抗議文を広島市の中国電力本社に提出。同連絡会の保母武彦・事務局長は「3号機はまだ動かしたことがない。今なら見学施設として生かす選択肢もある。稼働すれば40年、60年、全国でも最後まで残り続ける」と話した。

中国電は23日午後3時、松江市のくにびきメッセで立地・周辺自治体2県6市の議員と職員を対象に説明会を開く。傍聴自由。今後、住民向け説明会の開催を検討している。



京セラ、KDDIを創業し、日本航空を再建 稲盛和夫さんの半生 思慕 北康利/作家



毎日新聞のアカウント

RSS

新聞宅配申し込み

デジタル申し込み

ピックアップ

訪日外国人急増中。今、注目されている「聞く・話す」に特化したおもてなし英語検定

アンケートに答えるとAmazonギフトがもらえる「毎日アンケートパネル」募集中！

話題の記事

森友学園問題 財務省改ざん、透ける付度と多くの謎



和菓子 破産「花園万頭」事業継続へスポンサー名乗りも



大阪府警 吉本「グイグイ大脳」を逮捕 強制わいせつ容疑

吉本興業

森友学園問題 改ざん、佐川氏主導 首相答弁契機と認める



アクセスランキング

1時間 1日 1週間 SNS 動画 写真

毎時01分更新

- 1 ウナギ 2. 7トン廃棄のかば焼き 1万3650匹に相当
2 ウナギ 捨てられた「かば焼き」2.7トン 小売り調査
3 ドローンで見た被災地